

会 議 録

会議名	平成 23 年度第 2 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 23 年 10 月 18 日（火）午後 6 時 30 分～8 時 25 分	
開催場所	八王子市郷土資料館集会室	
出席者	委員	大村のり子、小野一之、柿崎博孝、田野倉宏和、田村知美、西嶋佳子、深栖義昭、藤岡換太郎、山中幸生、吉田幸子、（50 音順）
	事務局	齋藤和仁生涯学習スポーツ部主幹（こども科学館長）・田島巨樹文化財課長（郷土資料館長）・森融こども科学館主査・戸井晴夫郷土資料館主査、尾崎光二郷土資料館主査
欠席者		
議 題	協議事項 1．こども科学館及び郷土資料館の事業実施状況（4 月～9 月）について 2．その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	1. 会議次第 2. こども科学館事業実施状況 3. 郷土資料館事業実施状況	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<p>八王子市こども科学館の事業実施状況と施設評価について、齋藤こども科学館長から説明。つづいて八王子市郷土資料館事業実施状況と施設評価について田島郷土資料館長から説明。</p> <p>質疑応答</p> <p>小野会長 両館から説明がありました。今回は両館ともに危機感がステップになったことがよく分かります。こども科学館の方はハヤブサブームの後、郷土資料館は市民会館移転後の危機感から広報宣伝活動、学校対応等の結果、良い結果が出たとの報告がありました。委員の皆様からご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>小野会長 田村委員</p> <p>田村委員 郷土資料館についてですが、駅前の南口総合事務所に何回か足を運んでいるのですが、事務所に入ってすぐのところのスペースでパネル展を開催していました。郷土資料館の利用者の中には、市民会館への来場者も多かったと思いますが、市民会館の移転により来館者が減少すると懸念されます。南口事務所のところは人通りも多く、人の足の向きやすいところと感じています。南口総合事務所でピーアールすれば、本館の方へもお客さんを呼べるのではないのでしょうか。</p> <p>こども科学館の方ですが、広報へ掲載が厳しくなっていると聞いていたので、夏休みのスケジュールが広報に大きく掲載されるのを見て、嬉しく思いました。以上です。</p> <p>大村委員 郷土資料館ですが、今回のデータを見ると心配していたほど大きく落ち込んでいないので安心しました。アンケートとか取っていますか。</p> <p>尾崎主査 夏休み期間中のコーナー展「戦争と子どもたち」でアンケートを行いました。63名の方からご回答をいただきました。来館のきっかけですが、一番多かったのは八王子市の広報を見た方、つづいて夏休みだったので来たという方で、8割ぐらいを占めていました。他には、知り合いから聞いたからというようなクチコミもあります。来館者のお住まいですが、八王子市内からが7割、多摩地域と神奈川県、埼玉県など周辺の県から続きまして、23区内は少なかったです。年齢層ですが、50歳代以上が3割、30歳代～40歳代と小学生が3割で、これは家族で来館していると思われれます。中高生、大学生が同じくらいでした。</p>
-----------------------	---

	<p>感想としては、「子どもたちに見てもらいたい。」「戦後、60年以上経過しているので、忘れられてしまうので、続けてほしい。」「学生（中高大学生）からは、「勉強の参考になった。」という意見をいただいております、八王子空襲については、八王子の重要なテーマとして続けて行きたいと感じました。</p> <p>小野会長 藤岡委員</p> <p>藤岡委員 去年は歴史入門連続講座を実施しましたが、今年は先日実施した講座、1回だけの実施となるのでしょうか。</p> <p>戸井主査 先日の講座は生涯学習フェスティバルの関連講座として実施しました。連続講座は12月から4回開催します。今年は4月からの開催を計画していましたが、東日本大震災の影響で12月からの開催となりました。</p> <p>藤岡委員 先日の講座もフェスティバルということもあったためか、満員となり良かったです。</p> <p>こども科学館についてですが、8月の想定を上回る増加の要因はポケモンによるところですか。</p> <p>斎藤館長 「ポケットモンスター」も一つの要因と考えていますが。ここ数年当館では、広報宣伝・ピーアール、パブリシティについて力を注いできた結果、入館者数を増加させることが出来ました。ある程度知名度も上がってきていると思っておりますが、「ポケットモンスター」は強いと思っておりましたが、実際に投影してみて、コンテンツとして「ポケットモンスター」は強いと改めて実感しました。実は、映画館で「ポケットモンスター」を2種類の内容の作品を上映しています。その映画の公開日と当館の公開日とが同日だったこともあり、ポケットモンスターを好きな人は、映画を2本見て、さらにプラネタリムの番組も見るといようなこともあったと考えられます。また、「ポケットモンスター」の気は非常に高く、当館としては初めて上映の1時間位前に満席になることもあったほどでした。アニメーションとしての出来が良く、クオリティーが高く、観覧し終えたお客さまも大変満足した表情をされていました。作品の気が高く集客に強い、作品の出来が良く、見てもらった後の満足度も高かったという意味では、この夏の成功の要因の大きなコンテンツであったことは間違いないと思います。</p>
--	--

	<p>田野倉委員 こども科学館の工作イベントですが、定員を設けて行った反応はどうだったのでしょうか。</p> <p>斎藤館長 夏休み期間中のイベントに関して申し上げますと、良し悪しは別として、9月に夏休みの宿題として学校に提出できるものは即座に埋まります。実験をした結果、成果物のないものや夏休みの宿題として適当でないものについては、受付開始とともに即座に埋まることはありませんが、夏休み期間中は当日の来館者に参加いただくことで定員が埋まりますので、定員割れと言うことはなく満席です。</p> <p>田野倉委員 郷土資料館ですが、他の文学館などでは、作家の作品などを繰り返しビデオで流しています。郷土資料館でも戦争体験の話や紙芝居等を普段でも見られるように出来ないでしょうか。事業を行っていない時に行っても見ることが出来るようにしたら良いと思います。また、郷土資料館という名称は、知らない人にとっては、資料しかないような印象を与えるので、名称の変更を考えたら良いのではないのでしょうか。利用者に内容を知らせる面からは必要だと思います。</p> <p>田島館長 映像については、今のところ考えておりませんが、八王子で歴史に関係するところで一番訪れていただいているのが、八王子城跡で、年間3万4千人位です。そこに、来年度中にガイダンス施設が、完成する予定になっております。この施設は、登録博物館ではなく、あくまでも解説と休憩施設として建設しますが、山城である八王子城跡を知っていただくための簡易な資料展示と映像を流すことを施設として検討しております。この映像を郷土資料館の方で見ていただくことは可能だと思いますし、郷土資料館には、八王子城跡から出土した本物の遺物が展示してありますので、そういったものとガイダンス施設を連携させて行きたいと思っております。名称についてですが、郷土資料館は開館から44年が経過しております。出来れば郷土資料館で持っている資料と市史編纂の調査研究資料、あるいは、市が持っている行政公文書等を融合したものを展示する施設などを職員の中だけで検討しておりますので、実現出来ればと考えております。ネーミングについてもその中で、ふさわしいものを検討したいと思います。</p> <p>小野会長 田村委員</p>
--	---

	<p>田村委員 郷土資料館という名称についてですが、旅行に行った際には必ず郷土資料館に行くのですが、派手なわけではないし、刺激的な企画があるわけではないのですが、その土地に伝わっているものが展示してあります。たとえば、長野県の安曇野地方にある紙で出来た平面的な「押し雛」は、学芸員さんから安曇野地方にしかないものだと言いました。多くの場合、郷土資料館という名前を使用していますが、郷土資料館という名称を使用しなければいけないものなののでしょうか。</p> <p>小野会長 郷土資料館という名称を使用しなければならないという決まりはありません。郷土の歴史を「落ち着いた雰囲気の中で学ぶことが出来る施設」というイメージから郷土資料館という名称を使用するケースが多いと思います。現在の八王子の郷土資料館がそのイメージです。施設の名称を変更するのであれば、新しい施設を造る際に施設にふさわしい名称を検討するべきだと思います。</p> <p>吉田委員 両館に伺います。リピーターはどの位いるのでしょうか。家族で来館するというお話もありました。世代を超えてこれるといのは良いことだと思います。</p> <p>尾崎主査 リピーターに関する統計は行っていませんが、郷土資料館の場合には、休日の来館者が平日に比べて2倍、3倍ということではなく、平日にもかなり来館していただいております。平日の来館者は八王子の歴史調査を目的としている方が多く繰り返し来館されるように感じております。</p> <p>小野会長 リピーターの件は非常に重要な要素です。リピーターや友の会を増やしていくことは良いことなのですが、一つの催しものの参加者の半分以上がリピーターであると、内輪だけでやっていると外部からは見られる。また、そこに参加している人達も違和感を持つということもありますから、リピーターといった固定客は参加者の3割程度で、新陳代謝しながら利用者を増やしていくのが良いかと思っています。</p> <p>小野会長 山中委員</p> <p>山中委員 郷土資料館の入館者数のグラフを見ると市民会館移転した影響が少なく良かったということもありますが、3年間の推移を見ると利用者数は一日平均100人前後で何かの原因による変化の推移では無いように思われる。固定客である子ども</p>
--	--

たちや団体であり、人は違うかもしれないが結局枠は同じで、それ以外の人達も固定客だと思います。郷土資料館には、目新しいところというイメージがないからこそ固定客ということになっていると思うのですが、新規のお客さんを開拓するという方向に行くのか、郷土資料館という資料的存在価値を活かしていくかを見定めていかないと100人「増えました」、「減りました」という話を聞いてもあまり意味がないというような気がしました。それに対して、サイエンスドームに関しては、ポケモン効果でだいぶ増えていると思います。だいぶ増えているということは、リピーターではなく、新規の方々に浸透したからこそお客さんたちが来たということだと思うので、新規に開拓された方たちを今度はリピーターとして、来てもらい、新規の方にまた来てもらうというふうに順繰りになっていかないと一時的にポケモン効果で増えましたというだけではもったいないので、その部分を次につなげていけるような対策が見えてくると良いと感じました。

齋藤館長

今、リピーターの関係からご指摘をいただいたなかで反省をしたところですが、私どもの館の利用者数が、年間3万人台4万人台が続いたことがあり、外部の監査委員から「市がこのまま館をもって運営し続けるべきなのか、根底から考え直すように」と指摘を受けたことがあります。そういった指摘を受け、改善策として「プラネタリウムのリニューアル」がかなって、来館者数を増やすことが出来た訳です。私どものような施設は新規オープンしたときと大幅な施設のリニューアルしたときに利用者のピークが来て、それ以降は減り、底をうって続くというのが全国的な傾向で、これは管理が直営だろうと委託だろうと指定管理であろうともそういう現象が起きやすいことが明らかになっています。私どもの館は、ハードをリニューアル後、3年目となっていますが、お客様を増やせているということは、「成果を上げている」と言えると思っていますが、今まで、数字の報告をしてきましたので、数字が大事ということになってしまっていますが、こども科学館が存在意義があるということを多くの方に理解していただくためには、利用者数というのは非常に大きな働きをするので、伸ばすということは当然なのですが、本当に大事なものは数字ではなくて、お客様がどう感じたかということがもっと大事

と考えています。お客様がどう「感じ」、「伝え」、戻って来る人、新しく連れて来る人達が出てくるのが非常に大事な事です。基本の姿勢としては、数が重要ということではなくて、お客様に対しては、7万人の人が来たら7万分の1ではなく、常に1分の1という姿勢が職員のなかで浸透しています。どんなにお客様が多くても常に1対1の気持ちが良い対応が出来る接遇を心がけています。お客様が増加している大きな柱は、科学館としてやるべき事象があるときに一番良い時にタイムリーにお客様に知ってもらうための企画やイベントを行うことが一つ、常に良い接遇で、お客様が来たときに「気持ちの良い施設だと思っていただける」ように接遇やマナーを常に努力して向上させていくということが一つ、もう一つがパブリシティー活動で、常に宣伝し続けていくことです。このことが根幹で、私たちが忘れてはいけないことだと思っています。

田島館長 郷土資料館は来られる方が二層に分かれているのではないかと考えております。一つは郷土愛に芽生えていただくような形でどのようなものが展示してあるのか、資料に関するファーストインプレッションで訪れる方。もう一つは研究者で、かなり深い知識を持った方。そういった二層の要求に応えられる施設にしたいと考えております。今回、サントリー美術館に行ってまいりました。貸出中の郷土資料館の一押しの資料であるレースガラスを見てまいりました。そこに展示してあるレースガラスと当館で展示しているときとは違うものに見えました。輝いて見えまして、それを見ると興味がわき、外のものも見たくるように思えました。

当館としてもそこを見据えて考えなければいけないと感じました。現在、リピーターの多くは研究者の方ではありますが、そこも大切にしながら、新たに興味を持っていただいた方はもちろんのこと、新たに興味を持つ方を増やすためのパブリシティー活動、また、市内の方はもちろん市外の方に向かって積極的なピーアール活動が必要と強く感じております。

藤岡委員 郷土資料館は名前だと思います。法律的な問題がなければ工夫したら良いと思います。私は、郷土資料館は何となく観光的なものある意味、道の駅的なものと考えています。そこに行けば、その地域のことがすべて分かるということで、今郷

	<p>土資料館が目指しているものは文化系なものの歴史系の資料が多いが、資料館ですから自然系の資料があっても良いし、そこに行くと八王子に関する資料は何でもあるというふうになるべきと思っています。一種の見せるということを考え、攻めたらいいと思います。100周年に向けていろいろな資料を見せるようにしたらどうかと思う。</p> <p>田島館長 私も藤岡委員さんの言われたことは感じております。まずは、常に何かをやっているということで、企画展を切れ目なくやっ ていこうと考えています。その次に、イメージ戦略でそれを市民にアピールしていく。郷土資料館にこういったものがあることを周知して資料館のイメージを作っていきたいと思 っています。また、100周年に向け市史編纂を行っており、 その中で資料を集めています。そういった資料も活用しながら考えていきたいと思っています。</p> <p>小野会長 山中委員</p> <p>山中委員 夏の節電の影響を思いのほか受けず、お客さんの減少も無か ったとの話があったが、公共施設の方が民間の施設よりやっ ているだろうとか、安全だろうという意識があり、民間施設 よりも安心感があり、八王子市の施設であるということがア ピールポイントとなると思います。今日はスマートホンで調 べながらバスで来たのですが、市役所のホームページから入 ったのですが、JRの駅からバス乗り場への案内は非常によ く分かるのですが、肝心の時刻表にアクセス出来ず結局歩い たのですが、バス利用者にとっては事前に調べる時に乗り場 も重要なのですが、時刻表も大事なのでそのあたりも充実し てもらいたいのと郷土資料館の案内もバス利用のアクセス方 法も書かれていて違和感が内容に見えるのですが、八王子イ ンターからのお知らせはお客さんにとってはあまり重要では ないのかと思います。あっても良いのですが、もっと外のと ころを充実させた方が良いと思います。</p> <p>小野会長 深栖委員</p> <p>深栖委員 郷土資料館の入館者ですが、特別展期間中の2ヶ月館の来館 者数が4,000人ということは、15パーセントの期間で30パ ーセントの人数ということで効率が良いと感じます。そこで 企画展について三つ伺います。まず一つ目は、企画展は年間 何回ぐらい出来るのか、やろうとしているのか。二つ目は、</p>
--	--

	<p>開催時期について夏が多いとか、時期的なものがあるのか。三つ目は、最近の内容は、戦争をテーマとしているものが多いように感じるが、どのようなものに市民の関心が高いのか、検討を加えた上でテーマを決定しているのか。つづいて、常設展示について伺います。映像を活用した展示を考えたら良いと思います。現在は大人の来館者は多いが、子どもの来館者は少ないので、子どもが関心を持てるような映像を繰り返し流すことも効果的かと思います。最後に、鑑水にある「絹の道資料館」を分館として活用することも必要かと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>田島館長 企画展の開催回数については、予算、人手、資料点数によって内容等が異なりますので、一概に何回実施出来るとか言いにくいのですが、今年は回数を増やし、入館者数の推移を検証してみたいと考えています。来年度以降については、今年の結果を勘案して実施していきたいと考えています。テーマの選び方ですが、戦争を取り上げる場合については、総務課とも連携しながら進めてまいりましたが、来年度は指向を変えてみて、入館者の動向を見たいと思っています。映像につきましては、二つの方法があると思います。一つは、歴史的な物を既存の番組の中から探して放映する方法。もう一つは、歴史資料をもとに独自番組を作成して流す方法があると思います。歴史ものの映像があるかは分かりませんが、探してみたいと思います。後者の歴史ものの番組を作るには、ノウハウや経費が必要だったりしますので、現在建設中の「八王子城跡のガイダンス施設」で検討している映像について、こちらでも活用できるか考えたいと思います。</p> <p>小野会長 西嶋委員</p> <p>西嶋委員 八王子に引っ越してきた時に感動したのは、八王子千人同心を知った時でした。その時も大人は文書を読めば分かったのですが、小学生だった子どもはなかなか分からなかったもので、その時に子ども向けのアニメーションのようなものがあったら喜んで見るので、関心を持って理解できたのかと思いました。親としては、子どもに歴史についてもっと勉強をしてほしいと思っていますが、夏休み期間中に子供向けのものがもう少しあった方が良いと思います。スペースのこともあるとは思いますが、八王子千人同心や八王子空襲に関するものや</p>
--	--

	<p>ボランティアが作成した紙芝居を撮影したものを5分間程度でも流したら良いと思います。また、見るだけでなく昔遊びなど体験で出来るコーナーがあるともう一度来たいと思うのではないのでしょうか。大人たちも子どもたちが体験している間に特別展等を観覧することも出来て良いと思います。</p>
尾崎主査	<p>夏休み期間中の子供向けのイベントとして「農具体験」を開催しました。参加者は18人と少なかったですが、三世代で来られる家族もあり、家族の中でおじさんやおばあさんが説明をしていたり、参加された方は大変満足していました。来年も内容を工夫して多くの方に参加いただけるような企画にしたいと思っています。</p>
小野会長	<p>柿崎委員</p>
柿崎委員	<p>両館ともに古くなっております。すぐにはリニューアルというのは無理だと思いますので、トータルのデザインを整えていく。たとえば、サイエンスドームは張り紙が多すぎるような気がします。長期的に掲示するものであればパネルなど耐久性のあるものにし、デザイン、書体などもイメージアップするように検討加え、予算的なこともありますので、少しずつ変えていったら良いと思います。</p>
小野会長	<p>吉田委員</p>
吉田委員	<p>先日新聞に八王子発の日光への直通電車のことが載っていました。千人同心と関係が深いので大変期待しているとあったので、どのような取り組みを計画しているのでしょうか。横浜開港150周年のときも絹の道のブースを設けて努力されていたのですが、その割に知ってもらえていないと思いました。今回の日光では、もっとピーアールを出来るような企画を要望します。</p>
山中委員	<p>映像のお話がありましたので、新たなコンテンツを作るといのは長期的なこと戦争体験等の映像は記録として撮られていますか。体験談などは今は良いのですが、10年20年先になると「あの時は聞けたね」で、終わってしまうのであれば、それをアーカイブ化しておくことは、非常に大切なことですので、アーカイブ化したものを開放したり、何かのコンテンツとして見せることは後からでも出来ます</p>

	<p>ので、記録しておくということからはじめでいただきたい と思います。</p> <p>小野会長 田野倉委員</p> <p>田野倉委員 夏休み期間中は節電対策ということで、月曜日が休館と なりましたが、公共施設を開放することが家庭での節電に つながるというニュースがありました。八王子市でもサイ エンスドームだけは節電対策のために開館するというよう なことは出来るのでしょうか。</p> <p>齋藤館長 八王子市は節電対策に積極的に協力するという方針のもと に、生命財産に直接かかわらない所管は協力するという中 での取り組みでしたので、サイエンスドームだけ別だとい う話にはならなかったと思います。来年については、節電 対策が行われるのかもわかりませんし、その対応について もこの場では、明言しかねます。</p> <p>小野会長 活発なご意見ありがとうございます。これも、上期の成績 が良かったからだと思います。こども科学館は言うに及ば ず、郷土資料館の方も新たな取り組みが期待できると伝わ って来ました。戦争の企画展に新たな方向性を持たせるとい う話もありました。時期については、8月が一番良いのでし ょうけど時期の検討も必要かと思います。また、テーマに ついては、「災害」、「人権」、「環境」といった問題に絡めて 戦争という新しいテーマを打ち出すといった方向もあるか と思います。今年度の生き良いで来年度も期待したいと思 いました。</p> <p>続きましてその他ですが、何かありますか。無いようです ので、観覧いただいたプラネタリウムの新番組の感想を伺 って、協議会を終了します。</p>
--	---